

1. 科目名 (単位数)	こどもの健康と安全 (2単位)	3. 科目番号	JNCS2411 SSOT2414 SCOT2414 SJMP2123
2. 授業担当教員	橋本 由利子・佐野 葉子		
4. 授業形態	講義、演習、グループワーク、プレゼンテーション	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	保育環境を踏まえ、こどもの保健に関する個別対応と集団全体の健康及び安全の管理の具体的な方法を学ぶ。衛生管理、事故の予防及び安全対策、危機管理、防災への備えについて理解する。こどもが体調不良になった場合の対処方法、救急処置と救急蘇生法などを身に付ける。また保育における保健的対応の基本的考え方や3歳未満児への対応、慢性疾患やアレルギー性疾患など個別的な配慮を必要とするこどもへの対応を学ぶ。保護者や地域との連携を図る方法、保育における保健活動の計画と評価についても学ぶ。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもの健康管理、健康観察の方法について理解し、実施できるようになる。</li> <li>2. 衛生管理の方法(感染症対策も含む)について理解し、実施できるようになる。</li> <li>3. 子どもに体調不良が発生した場合の対応について理解し、実施できるようになる。</li> <li>4. 救急処置および救急蘇生法について理解し、実施できるようになる。</li> <li>5. 子どもの事故の特徴と事故防止の方法、危機管理について理解し、説明できるようになる。</li> <li>6. 3歳未満児への対応、慢性疾患やアレルギー性疾患など個別な配慮を要する子どもへの対応を理解し、説明できるようになる。</li> <li>7. 保護者や地域との連携方法、保健活動の計画と評価について理解し、説明できるようになる。</li> <li>8. 集団保育における健康管理・健康教育の実際を理解し、説明できるようになる。</li> </ol>		
9. アサイメント(宿題)及びレポート課題	子どもの命を守るために保育者として大切なことをまとめてください。(1600字程度)		
10. 教科書・参考書・教材	<b>【教科書】</b> 小林美由紀編著『子どもの健康と安全 演習ノート』診断と治療社 <b>【参考書】</b> 中根淳子・佐藤直子編著『子どもの保健』ななみ書房 小林美由紀編著『子どもの保健テキスト』診断と治療社 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもの保健に関する個別対応について理解し実施できる。</li> <li>2. 集団保育における健康管理・健康教育の実際を理解し説明できる。</li> </ol> ○評定の方法 成績評価については、ミニテスト20%、レポート30%、日常の授業態度50%とし総合的に評価を行う。		
12. 受講生へのメッセージ	子どもの健康と安全は、保育中の乳幼児の命と健康を守るための技術を学ぶ重要な科目です。保育者は乳幼児の普段の状態をよく把握し、普段と少しでも異なる症状があった場合にはそれをいち早く察知し、適切に対処しなくてはなりません。また、乳幼児の養護や看護を行う場合には愛情を持って温かく接する事が大切です。一つ一つの実技を誠心誠意、真剣に行ってください。 受講生は以下のことを必ず守ること。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 授業は、常に高い緊張感と集中力を保って受講すること。学生には積極的な態度を望む。</li> <li>2) 理解できないことはそのままにしておかないで、積極的に質問すること。</li> <li>3) 欠席・遅刻・早退をしないこと(やむを得ない場合は必ず文書で申し出ること)。</li> <li>4) 授業中の私語、携帯電話の作動は絶対にしないこと。守れない場合は退出してもらいます。</li> <li>5) 実技・演習は、事故のないように気を引き締めて行うこと。</li> <li>6) 実習機材の準備・後片付けを積極的に行うこと。</li> </ol> 講師は以下のことを実行します。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学生が積極的に授業に参加(発言、発表)できるように双方向対話型の学習環境を作る。</li> <li>2) 明らかに授業態度が悪いと判断された場合は厳格に対処する。(その場合、たとえすべて出席していてもF評価になることもあるので注意すること。)</li> </ol>		
13. オフィスアワー	授業内で周知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	ガイダンス 妊娠、胎児期の発育、染色体異常	事前学習	シラバスを読んでくる。
		事後学習	妊娠の成立、胎児期の発育と染色体異常について整理する。
第2回	子どもの発育の観察と評価 演習：身体測定	事前学習	子どもの発育状態の把握について調べてくる。
		事後学習	身体測定の方法について整理する。
第3回	子どもの健康状態の観察方法 演習：バイタルサインの測定	事前学習	子どもの健康状態の観察について調べてくる。
		事後学習	バイタルサインの測定について整理する。
第4回	保育における保健的対応：母乳、人工栄養、離乳食 演習：人工乳の作り方、手洗い方法	事前学習	母乳、人工栄養、離乳食について読んでくる。
		事後学習	人工乳の作り方、手洗い方法を整理する。
第5回	保育における保健的対応：口腔機能の発達と衛生 演習：口腔衛生	事前学習	口腔機能の発達と衛生について調べてくる。
		事後学習	口腔衛生の方法について整理する。
第6回	衛生管理 演習：施設環境・嘔吐物の処理	事前学習	衛生管理について読んでくる。
		事後学習	施設環境・嘔吐等の処理について整理する。

第7回	子どもの体調不良に対する適切な対応 演習：薬の与え方・病院受診時の対応	事前学習	子どもの体調不良に対する適切な対応について読んでくる。
		事後学習	薬の与え方・病院受診時の対応について整理する。
第8回	傷害時の応急処置 演習：出血と止血法、骨折の手当て	事前学習	傷害時の応急処置について読んでくる。
		事後学習	止血法、骨折の手当てについて整理する。
第9回	救急処置および心肺蘇生法 演習：気道異物除去・エビペンの使用方法・心肺蘇生法	事前学習	気道異物除去・心肺蘇生法について読んでくる。
		事後学習	気道異物除去・エビペンの使用方法・心肺蘇生法について整理する。
第10回	救急処置および心肺蘇生法 演習：心肺蘇生法・AED	事前学習	AEDの使用方法について読んでくる。
		事後学習	AEDの使用方法について整理する。
第11回	個別的な配慮を要する子ども・障害を持つ子どもへの対応	事前学習	個別的な配慮を要する子ども・障害を持つ子どもへの対応について読んでくる
		事後学習	個別的な配慮を要する子ども・障害を持つ子どもへの対応についてまとめる。
第12回	子どもの事故の特徴と事故防止の方法、危機管理	事前学習	子どもの事故の特徴について読んでくる。
		事後学習	事故防止と安全教育、危機管理について整理する。
第13回	集団保育における健康管理・健康教育 グループワーク：安全衛生教材作り	事前学習	安全衛生教育について確認し、授業内で教材が作成できるように準備する。
		事後学習	教材を完成させ発表に向けて準備する。
第14回	安全衛生教育発表	事前学習	教材を完成させ発表に向けて準備する。
		事後学習	各グループの発表から安全衛生教育に必要なことを整理する。
第15回	まとめ、内容の振り返り（ミニテスト）	事前学習	授業内の疑問や質問を考えてくる。
		事後学習	この科目で学習したことを振り返る。